

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:R3年3月12日

事業所名 放課後等デイサービスセンターぱすてる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	体育館等のスペースも活用しています。	課題と余暇の空間もきちんとわけて支援していきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3		可能な限り、安全面を確保して支援していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	ミーティングの時間を確保しています。	同じ支援が提供できるように、今後もミーティングを活用し、情報を共有していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	3		評価をみてもらい、改善策に努めていきます。ごお客様の情報取の為保護者様に協力して頂けるようなアンケートを計画していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		職員間で第三者評価委員が存在していることを周知。外部評価を受ける機械を計画していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		コロナ感染症の流行に伴い外部への研修は見合わせました。今後は状況をみながら外部研修へ参加し向上に努めていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			今後もアセスメント向上にむけて計画し、支援につなげていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			独自のアセスメントシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	行事は報告書を作成し次回へつなげています。	活動の振り返りを行い、改善できる部分は改善し次の活動プランにいかしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			ひとり一人に合わせた支援を継続しています。 ・未記入 1
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	課題の見直しを行い一人一人に合った課題を提示しています。	長期プランが不十分なため、今後計画し、視覚的な部分でも提示し、個別・集団活動を実施していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	感染症対策を実施しています。	密にならないように活動を組み合わせている。もうひと工夫しレベルアップできる課題を計画していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		時間をみてミーティング実施しています。	支援開始前にミーティングを行い情報を共有しているが、変更等の際は随時協力を求めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		支援終了後は送迎に出ている為、時間内での引継ぎは出来ず。翌日引継ぎを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			個別計画に基づき記録し、変化に関しても記録しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			6か月に1度モニタリングの他、日々の記録から必要に応じて見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	1	ガイドラインが見れる場所に準備しています。	ガイドラインを読み返しなが、活動を改善していきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校の迎え時確認しています。	今後も学校迎え時担任等から週の予定の確認しながら、情報収集できる関係を構築していきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			現在医療ケアが必要なお子様の利用実績はありません。必要に応じて体制を整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			相談事業所を介して利用となっている傾向あり、関係性は構築されていません。今後積極的に関わりをもっていきたい。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2		移行支援会議への参加の要望はありませんでしたが、必要に応じて相談事業所へは情報提供をしてきました。卒業後にスムーズにサービスが提供されるように今後も協力していきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			他事業所から情報収集し、当事業所の保護者様が必要に応じて参加しやすい環境を整備していきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4			コロナ感染症予防のため交流する機会はありませんでした。今後も地域のクラブ等の情報収集を継続していきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			コロナ感染症予防のため参加見合わせています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			職員のスキルアップを目指します。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4				コロナ感染症予防のため活動に組み入れることができなかった。今後は状況をみながら、交流を図れる機会を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				いつでも対応できるようにしています。 ・未記入 1
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3			法人の広報誌は定期的に配布していますが、事業所独自では不定期ではありましたが、個人新聞を作成し配布しました。
	35	個人情報に十分注意している	4				今後も職員研修を通して、意識向上を図っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1		送迎時状況を確認しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4				コロナ感染予防のため地域交流する機会を設けませんでした。今後状況をみながら機会を設けていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3			保護者様への周知は不十分でした。今後周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				総合避難訓練と、施設の避難訓練に合同で実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				虐待防止委員会を設置。内部研修を実施したり外部研修へも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				身体拘束の事例はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				利用前に保護者様へ確認しています。特別配慮が必要な事例は現在ありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				